

## 第5回多摩区区民会議

日時 平成25年9月4日（水）18：00

場所 多摩区役所 6階601会議室

出席者：委員・・・安陪修司、荒井精一、石橋吉章、大津努、清宮明、国保久光、小塚千津子、辻野勝行、戸高仁子、配島裕美、原田弘、藤原司、細埜隆己、本多正典、松本英嗣、吉田輝久

：参 与・・・井口参与、河野参与

：区役所・・・池田区長、土谷副区長、区民サービス部：高橋部長、保健福祉センター：林所長、石戸副所長、こども支援室：池田室長、道路公園センター：浅井所長、危機管理担当：森田課長補佐、総務課：布川課長、企画課：門間課長、飯塚担当係長、奈良職員、澤野職員、上野職員

傍聴者：2名

## 第5回 多摩区区民会議

日 時 平成25年9月4日（水）午後6時

場 所 多摩区役所 6階601会議室

午後6時1分開会

### 1 開会挨拶

司会 定刻となりましたので、委員長、よろしくお願いします。

天津委員長 皆様、残暑厳しき折、お疲れさまでございます。本日は第5回区民会議全体会議でございます。今までの両部会を中心としたいろいろな協議事項の発表並びに御報告、そして皆様から御意見を賜って、次のステップに行きたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

それでは、会議そのものに入る前に、事務局から資料の確認その他、報告事項なり、お願ひいたします。

事務局 それでは事務局から、会議公開制度の説明と資料の確認をさせていただきます。

この区民会議は本市の審議会等の会議の公開制度が適用される会議に該当しております。したがって、本日傍聴及びマスコミの取材を許可しておりますので御了承ください。

なお、本日の傍聴者の方々へのお願いでございますが、受け付けの際にお渡ししました注意事項をお守りくださいますようお願いいたします。また、会議につきましては、会議録を作成し公開することとしておりますので、会議終了時まで録音させていただきますので御了承ください。

なお、区役所の記録及び市政だよりや区ホームページなどの広報用としまして会議の様子を写真撮影させていただくことがありますので、御了承くださいますようお願いいたします。

次に、資料の確認をさせていただきます。「第4期多摩区区民会議第5回区民会議次第」というホッチキスで束ねたものがあると思うのですが、まず1ページ、おめくりいただきますと区民会議委員名簿がございます。2ページには区民会議の座席表がございます。3ページにはスケジュール表がございます。4、5ページにはコミュニティ部会の検討シートがございます。6ページから9ページまで自然災害部会の検討シートがございます。10ページには町会・自治会へのアンケート（案）ということで、A4の紙が4枚ございます。最後の14、15ページに第4期多摩区区民会議フォーラムについて（案）をつけさせていただいております。そのほか参考資料といたしまして、「川崎市自治推進委員会ニュースレター」というピンクのチラシ、それから「私たちのまちづくり」という多摩区まちづくり協議会ニュース、同じく多摩区まちづくり協議会の多摩★まちCafeのチラシをつけさせていただいております。

資料については以上ですが、不足等ございましたら挙手等いただければと思います。

大津委員長 ありがとうございます。各委員におかれては、資料の欠落はないものと理解させていただきます。

## 2 議 事

### (1) 部会での審議状況と意見交換

- ・コミュニティ部会
- ・自然災害部会

大津委員長 それでは、早速議事を進めたいと思います。レジユメにございますように、今日の議事は部会での審議状況と意見交換となっております。最初にコミュニティ部会の辻野部会長から報告をお願いしたいと思います。

辻野委員 ただいま大津委員長から指示がありましたので、早速コミュニティ部会の「顔の見える地域に根ざした『絆』を構築する」という提言に向けての審議状況について報告させていただきます。まず資料に沿って、資料を読み解きながら、4点ぐらいの視点にまとめて御報告したいと思います。よろしくお願いします。

まず第1点ですが、前回報告の5月28日以来時間もたっていますので、レビューを兼ねて、私たちの検討メンバーについては資料1のとおりでございます。No.5の大津委員長から国保さん、小塚さん、私、戸高さん、西山さん、配島さん、本多さん、松本副部会長、そのメンバー9名に石橋副委員長に常に参加していただきながら、10名で検討を重ねてまいりました。

続いて第2点、資料3の3ページの説明をさせていただきます。資料3の工程表を見ていただくとわかり、取組課題へのアプローチ手法、あるいは解決の方向性、取組テーマの絞り込み等に関しては、このコミュニティ部会の表に記載されているとおりでございますが、5月28日、前回の全体会議でこの点については報告済みです。その確認と、その後の継続性を見ていただくために、第3点として資料4、4ページをごらんください。

左から右へ目を通していただきたいと思います。テーマ、現状と課題、解決の方向・解決策、そして太枠の具体的な取組、実施主体という流れになっています。左から右へ、審議経過を踏まえて具体的、個別的な進捗状況の流れとなっています。そして右端の太枠、具体的な取組としては、上段、(1)イベントカレンダーの作成、(2)多様な趣味にふれあえるしかけの検討、(3)農業の切口から地域の絆が生まれるしかけ、それから下段、(1)あいさつ運動の展開、この太枠の部分が前回報告時には仕掛かり状態で持ち越しとなっております。

したがって、先ほどの表でごらんになっていただきましたように、5月28日の報告

以降の今日の報告については、いよいよ第4点として、本題である区長への提言を念頭に置いて、1つには具体的な仕掛けとその展開であり、2つにはモデル的既存活動団体とのコラボ・連携、そういう面のフィールドワーク・実施であり、3つには調査・フィールドワーク。こういう課題について、6月28日、7月26日、8月19日の審議経過について、5ページを使って説明させていただきます。

各取組の仕掛けと展開については、この5ページの表を見ながら説明させていただきます。まず、縦枠に「地域に参加してもらうしかけづくり」、「コミュニケーション能力を育む」、横軸にそのロードマップ、工程表になっています。そして6月、7月、8月に検討した結果をここにまとめています。

まず「地域に参加してもらうしかけづくり」の1のイベントカレンダーの作成についてですが、イベントカレンダーをどういう形でつくっていくかについて皆さんで審議検討した結果、やはり地域の一番のくくりである町内会・自治会、ここへのイベント情報収集アンケートによって教えを請うのが先決ではないかという結論に達し、町会・自治会へのアンケート（案）を作成いたしました。資料の12ページにそのアンケートをコミュニティ部会としてつくっています。「コミュニティ（地域）の絆づくりについて日ごろの状況やお考えについて伺います。」と、町会・自治会長宛てにこういうお願いをしたいということで案をつくっていますので、配島さん、一番近くにいるし、若いし、申しわけない、読んでいただけますか。

配島委員 部会長の近くにいるということで、読ませていただきます。

〈テーマ2〉コミュニティ（地域）の絆づくりについて日ごろの状況やお考えについて伺います。

近年、地域住民の間柄が疎遠になったといわれますが、地域の祭りやイベントに参加することで、知り合いになり絆が深まる可能性が高まります。そこで地域の祭りやイベントの情報を広く伝えるイベントカレンダー作成と地域住民同士があいさつしあえる関係づくりの手立てについて、あなたの町会・自治会の現状や考えをお聞かせください。

1 区民会議では、地域で行われている行事・イベントを多くの人々に広く知らせるイベントカレンダーの作成を検討しています。あなたの町会・自治会で行われている人の集まる行事（多数ある場合は、いくつでも）についての名称、実施時期を教えてください。またそれらについてより広く他の地域の住民に知らせ、参加が増えることが望ましいかどうかについても教えてください。

(1)あなたの町会・自治会での人の集まる行事（例：大祭、地域祭り、盆踊り、運動会、体育祭など）について教えてください。

注 ○＝行事情報を公開し、他の地域の人にも広く行事へ参加してほしい。

△＝行事の見学などは広く公開するが、一部については参加の制限がある。

×＝参加者が限定された行事で、一般的な参加はできない。

なお、イベントカレンダー作成の場合は、○、△が付いたものを掲載する予定です。

あなたの町会・自治会の名称。

辻野委員 ありがとうございます。

今、配島委員に読んでいただきましたが、このようなアンケートを町会・自治会長さん宛てにお出しして教を請いたいということで案をつくっております。そのアンケートの結果を踏まえて、今度どのようなイベントマップをどのような体裁で、わくわく感の出るような、皆さんに周知徹底するのにみんなの心を引くような魅力あるアイデアを出していただきながら、11月のフォーラムまでにはそういう枠組みのイベントマップをつくれたらという形で今検討に入っています。イベントカレンダーの作成については以上の状況です。

それから、2の学びのフェアで出会いの趣味活動という点では、実は多様な趣味に触れ合える仕掛けづくりってなかなか難しいなという話もあったんですが、まずやってみようということで、8月25日の市民館デーで囲碁将棋、トランプ、マジックの準備をして実際にやらせていただきました。「えッ！ゲームができて、マジックも楽しめる？ 行かなくちゃ！」というチラシ等もつくって、実際に実施して、その実施した結果ですが、大津委員長には囲碁の有段者がお知り合いで懇意にしているということをお願いしたり、あるいは国保先生には囲碁将棋、トランプ、マジックの準備をしていただいて、実際に将棋の実技指導とかトランプでのマジックをやっていただき、戸高さん、小塚さんは1階でこのチラシを持って皆さんへ呼びかけをしていただいて、本多さん、松本さんは実際に参加していただいて状況を見ていただいたというような形で、この後、各委員さんからやった結果についてコメントがあるかと思えますけれども、私が参加した限りでは、私の仲間も団塊の世代で、来たんですけれども、大変楽しかった、もっと頻繁にやれよと声をかけられましたので、好評だったんじゃないかな、手応えがあったんじゃないかなと。今後のコミュニティづくりの核にしていくような何かにつくり上げていく方向でいいんじゃないかなという感触を得ました。これはもちろん今後のメンバーとの打ち合わせの中で、さらに進化させていきたいと思っています。

それから、3の農・食育・健康活動についてですが、実はこれについては、私どものメンバーの白井委員との連携がなかなかうまくいかず、白井委員を通じてJAに働きかけて、よそのJAと区でやっていることを波及させられないか、我々が取り込めないかという合意はできているんですけれども、それをどう仕掛けるかというところで白井委員とのコミュニケーションがうまく進まなくて、ペンディングになっています。それはそれとして、11月2日の食育の秋inよみうりランド、JAと役所と農園士と町

会で実施しているこれに参加しながら、その方向性をつかんでいこうじゃないかという形で、今仕掛かり品になっています。「地域に参加してもらうしかけづくり」ではこんなところですよ。

それから、「コミュニケーション能力を育む」についても、あいさつ運動、あるいは人間関係づくり、そういうものの何かコアになるものをつかみたいという思いで、これもやっぱり町会・自治会へのアンケートをつくっています。配島さん、たびたびごめんなさい、13ページ、いいですか。

配島委員 2 ラジオ体操を一定の時期、一定の場所で行うことは、近隣の住民が知り合いになるよい機会だと考えられますが、近年はラジオ体操を行う町会・自治会が少なくなってきました。あなたの町会・自治会ではどんな状況ですか？

(1)あなたの町会・自治会では現在ラジオ体操を実施していますか？(いずれかに○をし、続く質問にお答えください。)

1 実施している → 質問(2)にお進みください。

2 実施していない

3 その他( )

(2)実施している町会・自治会に伺います。今年度の実施の形態を教えてください。

①実施日数に○印をつけてください。

1 1日 2 2～7日 3 8～10日 4 10日以上

②あなたの町会・自治会がラジオ体操を開催している場所はどこですか？開催場所の形態に○印をつけ、複数ある場合は、その箇所数をお書きください。

開催場所の形態、箇所数。

1 公園

2 広場

3 寺社境内

4 その他( )

③1箇所の平均参加人数はどれくらいですか。○をつけてください。

1 10人 2 20人 3 30人 4 40人 5 50人以上

④主な参加者を教えてください。(○はいくつでも)

1 子ども 2 母親 3 父親 4 高齢者 5 その他( )

⑤リードするグループを教えてください。○をつけてください。

1 子ども会 2 老人会 3 その他( )

(3)ラジオ体操について、お考えのことがあれば自由にお書きください。

辻野委員 どうもありがとうございます。

今、配島委員に読んでいただいたように、ラジオ体操については自治会へのアンケートをシンプルな形でお願いして、その中で我々の絆づくりの思いと合致するような

形であれば、サポート材料としてぜひ生かしていきたいということでこういう案をつくってみました。

そしてもう1つは、あいさつ運動の展開方法を検討すると下に書いていますが、アンケートの状況次第ですが、単純にあいさつ運動を取り上げていくという方向もあるのかなど。そして、このあいさつ運動、子ども区民会議は配島委員からもこの後に話があるかとは思いますが、子ども区民会議でも、近所との挨拶が絆、人間関係づくりだと、子どもさんの感性であの場で発表されていました。そういう部分で子どもさんの感性の鋭さに感心しながら、我々もそれを育てていくべきなのかなど思ったりもしています。これはこれからメンバーで詰めていく問題ですし、また安全安心、自然災害部会とのコラボという形でも何かうまい形で仕上げられればという思いでいます。

今後の方向性、ロードマップについては以上ですが、松本副部長、あるいは委員の方から補足があればよろしくお願ひしたいと思ひます。私の報告は以上です。

大津委員長 辻野部長、ありがとうございます。松本副部長、補足ありますか。

松本委員 いいえ、しっかりと報告していただいて、特にありません。我々の検討している内容をよく報告していただいたと思ひしております。ありがとうございます。

大津委員長 それでは、ただいまの報告の中で、具体的なアクションとして市民館デーでいろいろとしていただきました。その中でひととき活躍いただいた国保委員から、感想並びに反省点がございましたらお願ひしたいと思ひます。

国保委員 私、マジックと将棋の相手をしました。将棋に関しては大変強い方がいらしたので、二番やらせていただきましたけれども、もうちょっと人が多く来たらいいのではないかなと思ひますがけれども、私が一番残念に思ひるのは、出席の皆様も大変人格のいい方なので、善意のたましというのができますので、マジックも大変楽しくやらせていただいたんですけれども、子ども区民会議が3時で終わって、その後30分とか1時間、あるいは前に時間をあけて子どもさんを解放して、こういうマジックを見せたいなど。そうしたらみんな集まってくる。私たちがやっているところは2時に閉館しまして、子どもは3時までやっている。結局午前中とかお昼ぐらいに子どもさんの参加が全然なかったんですね。これはちょっと本末転倒かなど。行政側ともいろんな時間の配分もあるでしょうけれども、やっぱり子どもさんも一仕事終わったら楽しむというような工程でやっていただければよかったですかなと思ひます。あとは私は結構自分でも楽しませていただきましたので、ありがとうございます。

大津委員長 ほかの参加された委員の方で市民館デーについて感想なり御意見はいかがでしょうか。例えば本多委員はいかがですか。

本多委員 私、国保先生の手品を拝見させていただいて、口と手がうまく合致して、非常に楽しく、参加者が非常に喜んでいらっしやったというのは、開いてよかったなと思ひ

います。ただ、今、国保先生がおっしゃったように、子どもさんが1人顔を出したぐらいでほとんど来なかったというのは非常に残念でした。市民館デーで子どもさんたちがもっとたくさん来るんだらうと期待していたんですが、その点だけがちょっと残念だったという気がします。ただ、雰囲気は非常によかったです。

大津委員長 ありがとうございます。では市民館デーについてはここまでとしまして、ただいまのコミュニティ部会の審議状況の報告全体につきまして、各委員から御意見を賜われればと思いますが、どなたかいらっしゃいますか。これはぜひ最初と言っておきたいというのがありましたら。

それでは恐縮ですけれども、名簿順に一言ずつ賜りたいと思います。まず安陪さんから。

安陪委員 多部門にわたって一般の方が交流する取り組みを研究なさっておられて、大変だと思いました。一市民として入る場合に、こういうサークルに入るという勇氣は各人が持っていたかなきゃいけないんですけれども、我々も機会あるごとにいろいろな団体があるということを仲間にお知らせして、なるべく広く多くの交流の輪にかかわっていただくような役割を努めたいという気持ちを強くして、気軽に声をかける雰囲気を大事につくっていききたいなと思っております。

荒井委員 イベントカレンダーの作成ということで、それぞれの町会・自治会でこういうことをやっているということが事前にしっかり周知されるということで、催し物に町会の方が非常に参加しやすくなるんじゃないかなと思いますので、ぜひこれは実現していただければと思いました。

清宮委員 今言われましたイベント、これはいろいろ重複していると思うんです。学校単位でもやっていますからね。中学校ですか、うちのほうは宿河原のほうなんですけれども、そこでもイベント。余り見ないものですがけれども、これからもどんどんやれば人が集まってくると思います。

国保委員 私も一委員として、今の部会長と副部会長のお話で十分かと思っておりますけれども、仕事に関して、恐縮ですけれども、今10年違うとちょっと常識が違うんですね。ここにいらっしゃる方は常識的な話って大体共通していますけれども、50歳と60歳の人が話すと話が合わない。世の中の変化が激しいので常識感覚がずれているんですね。ですからコミュニケーションが非常にとりにくいということがありますので、そういう年齢を取っ払うにはやっぱりイベントがいいと思って、私は最初から、盆踊りとかお祭りとか、そういうものが具体的にどこにどうというカレンダーをしっかりとつくっていくのが一番いいんじゃないかなというのがずっとやってきた印象です。

配島委員 私もカレンダーづくりは大賛成で、皆さんと一緒に話し合いに参加させていただいていたんですけれども、やはり地域に出てくる仕掛けづくりの1つとしてそういうものが有効に活用されてほしいと思うし、有効に活用されるようなカレンダーをつ

くりたいなと思っております。

原田委員 ラジオ体操というのが大分表に出てきていますけれども、夏休みに入って5日間ぐらいはどこでもやっていると思うんですけれども、続けてやっている町会は余りないんじゃないかと思うんです。これを続けるようにいろいろ策をつけてやっていただければ、お年寄りの方なんかは出づらいというのがありますけれども、そういうのを公園か何かでやっていただければ確かにいいんじゃないかと思っております。ことしは猛暑でなかなか出づらいですけれども、もうちょっとお天気もよくなれば出てくるんじゃないかと思しますので、こういうイベントはいろいろやっていただければいいと思います。

藤原委員 皆さん御苦労されているのは大変わかるんですが、今、子どもを捉えようとしてもなかなか難しいですね。学校が終わったら塾に行っちゃったりして、ほとんど公園で遊んでいませんよ。そういう点から、公園でもう少し遊べるようなところを考えるかどうかというような問題もある。

もう1つは、イベントをやる場合、何があれかということなんですけれども、私も老人クラブで男の人を集めるのに一番よかったのが、まず料理教室なんですね。これに男の人が多く来てやられる。そういう興味が持てるというか、必要だという何かがあれば集まるんじゃないかと考えております。なかなかコミュニケーションって難しいですね。

それともう1つ、ラジオ体操ってありますけれども、これよりも今、公園体操っていうのをやっているんですね。参加された方、おいでですか。これは各地区の公園で、ここの福祉課の方が来てやっているんですね。これは大変たくさん集まっているんです。ですから、そういうことも計画されたほうがよろしいんじゃないかと思ます。

細埜委員 商店街なんかで、まちゼミというんですか、全国で今盛んに広まっているそうです。多摩区でも、安陪委員が主体となって、11月ですか、各商店会の方を集めて商店主の特技とかを披露して、お客さんになるような方を集めるイベントが行われているようですけれども、先日、読売新聞だったかな、群馬だと思うんですけれども、どこかの自治体で、まち部活というのが盛んに行われているそうです。例えば写真に載っていたのは、かき氷部。かき氷に興味がある人がいろんな味のブレンドをしたりして楽しむんだと思うんです。そういうのが80ぐらいいろんな部活があって、小さい5人、10人の集まりが広まっていくとだんだん活発になっていくと思います。

本多委員 私もイベントカレンダーをつくることには賛成しているんですけれども、例えば広報紙「私たちのまちづくり」の表紙、これは7月20日の民家園通り商店会夏まつりのときの一場面なんですね。ここに約3万人から4万人の方が集まった。300メートルぐらいの区間なんですけれども、そこにそれだけの人が集まっておられるんです

ね。そうすると、こういうところで絆をつくるというのがどういうふうに成り立っていくのか。このときは3万から4万とおっしゃっているから地域外の人もいっぱい来ているわけですね。この地域にこんなものがあるというのはわかるんですけども、その来た人たち同士の絆というのはどういうふうにしてできていくんだらうかというのは私自身疑問に思っているので、具体的にこのイベントカレンダーをどういうふうに生かしていけばいいのかというのが今後の課題かなと思っております。

松本委員 コミュニティ部会でいろいろ中心的に検討していて、イベントカレンダーは非常にいいなと思っているんですけども、私も町会をやっているんですけども、町会に来たときに、いろんな人に知らせるのはいいんですけども、来てもらって参加するというのは、有料で参加するならいいんですが、例えば餅つきをやったときに町会の人はずっと餅を食べていただけるとか、町会の子どもにはお菓子を配るとか、いろいろそういうがあるので、その辺のところは痛しかゆしというか、見に来てくれるだけでしたら本当にいいんですけども、やっぱり町会費をいただいている中で運営していくことになるのでどこまで載せていいものやら、その辺がちょっと悩ましいなと思っております。

それから、市民館デーなんですけれども、囲碁将棋、トランプ、マジックということでやったんですけども、これは各市民館でブースを出してやっていたけれども、各団体でもPRというか、俺のところに来いよというのをやっているんじゃないかと思うんです。そういう面では我々のブースは、決めたのが遅かったということもありまして、もう少し誘い込みを事前にできたらよかったのかなと反省しております。なかなかよかったという声もいっぱい来て、否定的な声はほとんどありませんでしたので、できればそういう形でもっと誘い込む。それから、先ほど子ども会議との関係もありました。市民館さんのほうともよく相談して、そういうふうな対応ができればいいなと思っております。

吉田委員 私は自治会のほうを長く担当しております、「コミュニケーション能力を育む」のあいさつ運動の展開というのに非常に興味がありまして、自宅から朝、子どもさん方に、行ってらっしゃいと。幼稚園、小学校に行ったときにも、朝のおはようございます、帰りのさようならとか、ありがとうという言葉を全区的にもそういうことで、家庭での行ってきます、ただいま、そういうあいさつ運動の展開というものを、会社や、どこでもそうですけれども、そういうことで全区的に組織的に広げていただけたらなということを思っております。

石橋副委員長 これまでの中で経過については承知しているんですが、これからフォーラムに向けてというのにいきますと、イベントカレンダーというのはイベントカレンダーという形がありますよね。今、本多さんからもありましたように、これの活用をどうするかというのはまたこれから協議していかなければいけないことですが、

2の学びのフェアで出会いの趣味活動についても、どのような絵を描くかということがこれからの作業の中で必要ですし、農・食育・健康活動のところも、11月2日のイベントで方向性をきちんと見つけなきゃいけない課題であるなと思いました。

アンケートの中で、今、ふと声を出して聞きますと、やっぱり2の(2)の④の「高齢者」という表現はやめたほうがいいんじゃないか、「祖父母」のほうがいいんじゃないかなと私は思いました。

戸高副委員長 コミュニティ部会に所属させていただいています戸高です。先日の子どもたちとの交流の企画とか子ども区民会議にも参加させていただきまして、私たちが日ごろ部会で検討してきました課題についていろいろ感じたことがございますが、先ほどおっしゃってましたあいさつ運動をどう広げていくとか、それからイベントカレンダーの活用を今後どうしていくかということで、今日内容について御審議いただきたいと思って提案させていただいていますアンケートの結果次第で、地域の方々がどれだけ御自分たちの地域の中で悩んでいらっしゃるのかとか、そういうことを伺いながら、先ほどどなたかが懸念されておりましたけれども、行事情報を公開してもいいのか、他の地域の人々にも広く行事に参加してほしいのかという意向なども伺う項目を加えさせていただいております。その中でどういったイベントカレンダーをつくっていくかということが、参加する市民にとっても、参加してほしい地域の方々にとっても大事ななと思ってこの意見が出されていると思いますので、そちらもアンケートの結果を踏まえながら生かしていけるのではないかと考えています。

また、あいさつ運動のこともそうなんですけれども、これからのフォーラムに向けての中で、先ほど石橋副委員長からもありましたが、きちんと部会の中でも進めていければと思います。

それから、男性のお料理教室のことも含めて、食育のそういう企画を持ちながら、農家の方の交流も得ながら、いろんな参加の場を広げていきたいということも、ぜひ実現に向けて部会としても前向きな方向でフォーラムまでに準備できたらいいかなと思って参加しております。

大津委員長 ありがとうございます。1つだけ、吉田委員のおっしゃったあいさつ運動ですけれども、私の住んでいる周りでも数年前からいろんなことをやっていますけれども、最初のうちは道端で会っても子どもたちは挨拶を返してくれません。というのは、親から、もしくは先生から、知らない人から声をかけられても返事をするなよと、こういうふうな教育的な経過があります。したがって、私の地域では、今私はサボっていますけれども、なるべく家の角口で通学する子どもたちに声をかける。おはよう、おかえり。そうすると、ああ、このおじちゃん、この家の人だということで、多少返ってきたという事例がありましたので、御参考に披露しておきます。

小塚委員 おくれて済みませんでした。この前の市民館デーでも、囲碁将棋でおもしろい

ものを見せていただいたなというのと、あとトランプの先生方がいて、80何歳の方が来られてすごく楽しんでいかれて、すごくよかったなというのと、赤ちゃんを抱っこしていたお父さんもこちらに参加して一緒に楽しんでいた部分が、逆にすごく静かな場面で楽しめたのかなと思いました。ありがとうございました。

大津委員長 それではアンケートに関しましては、自然災害部会も同じようにアンケートの準備がございますから、それらを見た上にして、コミュニティ部会についての審議並びに協議についてはここで一旦打ち切らせていただきます。

続きまして、自然災害部会の報告を荒井部会長からお願いいたします。

荒井委員 どうもこんばんは。自然災害部会では、前回の全体会を受けまして、6月、7月、8月と具体的な取組についてということで検討を進めてまいりました。6ページ、7ページに「情報の周知」、「生徒・学生との連携」、「避難所と備蓄倉庫」ということで内容をまとめてまいりました。

8ページに6月、7月、8月とより具体的に詰めた内容が載っておりますので見ていただいて、順番が1、3、5、4、2となっておりますけれども、「情報の周知」ということで多摩区版「備える。かわさき」の作成と、3の回覧板を活用した情報周知、それから2の身近な単位での防災マップの作成、4に区内在住大学生と地域の連携の仕組みづくり、5に避難所・備蓄倉庫に関する取組ということで、大きく3つのくりに分けまして、1、3はパンフレットチームということで、安陪委員、吉田委員、原田委員、細埜委員、清宮委員、藤原委員。7月のところにありますけれども、マグネット方式「あなたの防災情報」（仮）の作成と、町内会・自治会掲示板への避難所の掲示、それから回覧板方式で情報周知ということを検討していただきました。

それからアンケートチームということで、避難所・備蓄倉庫に関連するものと、区内在住の3大学の学生との連携ということで、アンケートについて検討いたしました。これは後ほどアンケートのほうを見ていただく形になります。

それから、2の防災マップづくりということで、防災マップづくりは実際これからになりますけれども、掲載するマップの項目については一応決定いたしました。

最初に、パンフレットチームに検討いただきました多摩区版「備える。かわさき」ということで、9ページをごらんいただきますと、マグネット方式のイメージでということで、配布物ですとすぐどこかに行っちゃって、実際に活用されるものにならないのではないだろうかということで、冷蔵庫やドアの裏などに各家庭の避難所、持ち出し品、緊急連絡先をマジックで記入して張りつける。非常にシンプルな形ですがけれども、家族、また同居の方としっかり打ち合わせをしていただいて、ここに張っておくからねという形で掲示していただける、非常に実用性の高い内容になったんじゃないかなと思いますけれども、一応そういう案が出ました。

それから2ですけれども、町内会・自治会の掲示板、あるいは広報掲示板等に、こ

の地域の避難所は〇〇ですということをしかり掲示していったほうがいいんじゃないかということがありまして、これで掲示していきたいということです。回覧板については引き続き検討ということがあるんですけども、回覧板自体、実際に各町会で回っているものをお持ちいただいて、内容等について検討したんです。回覧板については載せる内容等がしっかりあるんですけども、回覧板の実態が各町内会・自治会等でどういうふうになっているかも把握した上で、今後検討を進めていきたいとなりました。

それでアンケートなんですけれども、10ページをごらんいただいて、実際に町会が取り組んでいただいている取組状況、自然災害についての支援状況ということで、読んでいきます。

自然災害の取組状況と日頃のお考えについて伺います。

2011年3月11日の東日本大震災以来、防災・減災への関心が高まり、またゲリラ豪雨など天候不順により多発する風水害の影響を受け、地域の安心・安全を高める自然災害への対策が急務となっています。そこで、あなたの町会・自治会の自然災害への取組状況や日頃のお考えについて、お聞かせください。

問1 自然災害への防災訓練や防災講演会について伺います。

(1)あなたの町会・自治会では、防災訓練を実施していますか？（いずれかに○をしてください。）

1 している      2 していない      3 その他（                      ）

(2)あなたの町会・自治会では、防災に関する講演会などを開催していますか？（いずれかに○をしてください。）

1 している      2 していない      3 その他（                      ）

問2 一時避難場所（注※）について伺います。

※一時避難場所とは

○地域住民が震災（建物の損壊、家裁の延焼拡大、危険物の流出・漏えい、津波など）から身の安全を守るため、一時的に避難する場所で、近くの公園や団地、マンション広場などのことです。

○各町会・自治会・自主防災組織ごとに任意で決めていただいています。

(1)あなたの町会・自治会では、一時避難場所を決めていますか？ 「1 決めている」、「2 決めていない」のどちらかに○をし、続く質問にお答えください。

1 決めている → (2)に進む。

2 決めていない → (3)に進む。

(2)「1 決めている」と回答した方にお伺いします。その一時避難場所について、どのように周知していますか？（あてはまるものすべてに○をしてください）

1 回覧      2 チラシ      3 その他（                      ）

(3)「2 決めていない」と回答した方にお伺いします。決めていない理由はなんですか？（最も近いと思われるもの、ひとつに○をしてください）

- 1 避難所が近いので一時避難場所を決める必要性がない。
- 2 一時避難場所を決めたいが、適当な場所がない。
- 3 一時避難場所を決めたいし、適当な場所もあるが、手が回らない。
- 4 これまで一時避難場所を決める検討をしたことがない。
- 5 近いうちに、決める予定である。
- 6 その他（ ）

アンケートの裏側になりますけれども、11ページに問3ということで、3大学の学生さんに発災時に活躍していただきたいという意味で、実際に町会・自治会のほうがどう思うかというふうを問う内容です。

問3 多摩区には、専修大学、明治大学、日本女子大学の3つの大学があり、区内に在住する学生も多くいます。そこで、災害時における学生や3つの大学との連携・協力のあり方について伺います。

(1)地域に在住している学生との災害時の連携・協力について、どのようにお考えですか？ あてはまるものすべてに○をしてください。

- 1 日常的に、地域住民のひとりとして、防災訓練などに参加してほしい。
- 2 災害時に、地域住民のひとりとして避難所の運営などを支援してほしい。
- 3 学生との連携・協力を考えていない。
- 4 その他（ ）

(2)災害時に、3つの大学にはどのような協力をしてほしいとお考えですか？連携のあり方や連携の内容について、具体的にご記入ください。

(3)学生や大学との連携・協力を進めるにあたり、どのような仕組みや仕掛けが必要ですか。具体的にご記入ください。

例：大学と町会・自治会が意見交換をする場があると良い。

特に(1)が学生に期待する内容で、(2)が大学にどういう期待をするかということで、(3)として町会・自治会として学生、大学に連携・協力を進めるに当たりお考えを聞く、そういう角度から3つの設問がされています。一応アンケートについてはそういうことになります。

それから、もう1度8ページにお戻りいただいて、一番下の2ですけれども、身近な単位での防災マップの作成でマップ掲載項目の決定ということで、9ページの3に多摩区防災マップ掲載項目（案）を決めました。①避難所関連ということで避難所、一時避難場所、広域避難場所、避難区域、②災害時拠点ということで給水拠点、公共施設、公益施設（警察署、消防署、交番等）病院、③危険個所ということで急傾斜地、④その他ということで防災井戸、ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、こ

ういう項目を多摩区版の防災マップに載せていきたいということです。ただ、項目が非常に多くなりますので、当然のことながらより身近なマップということで、この辺のマップの区切り方をどういうふうにするかということも今後の検討内容になるかと思えます。非常に早足で説明しましたがけれども、一応検討した内容については以上でございます。細埜副部長、何かありましたら……。

細埜委員 特にありません。

大津委員長 ありがとうございます。ただいまの報告につきまして、御意見なり御質問なりございましたらいかがでしょうか。

ではまた同じように、今度は逆に吉田委員のほうからお願いします。

吉田委員 アンケートなんですけれども、大学の皆さんとか地域の皆さんにアンケートを配布して返ってきた場合、アンケートが返ってきたのはいいけれども、アンケートをどのように活用したらいいのか。特に3大学は、これをどう効果的に活用したらいいのか。11ページに、多摩区には専修大学、明治大学、日本女子大学の3つの大学がありますけれども、(1)、(2)、(3)の質問が入っていますが、これが返ってきたときにどのようにこれを活用するか、そこがもうひとつ考えるところかなと思っております。

松本委員 今御報告いただいた内容をうまくやっていけばとてもよろしいのではないかと考えております。町会でやっておりますと、防災のときだけどうのこうのじゃなくて、日ごろのいろんな活動に参加して顔見知りにならないと、防災のときに100%の力が出ないということもあります。コミュニティ部会でやっているようなこととも関連して、こういう形でできればよろしいのかなと考えております。

大学生についても、若い力があつたら我々も心強いというふうに感じますので、非常に期待しているんですけれども、今日は岩崎委員は出ていらしていないんですけれども、学校としても学生への安全責任とか安否確認を優先してやらなきゃいかん。そういう中で地域との連携をどうするかということになると思いますけれども、私としては非常に期待しているところです。

本多委員 私も小さな自治会の会長をしておりまして、一時避難所というのは一自治会でいろいろ決められるんです。ですから私のところは専修大学のグラウンドを貸していただくというのを決めているんですけれども、ところが、避難所というのは一自治会では決められないんですよ。私の場合は東生田小学校避難所運営協議会というのがあります。20ぐらいの自治会が集まってこの避難所を運営するというので協議会があるんです。だから一自治会に11ページのアンケートをいただきましても回答のしようがないんです。ですから、これは運営協議会の会長さんなり役職についている方に言わないと、避難所の運営に協力してほしいとかしてほしくないとか、そういうのは全体でやっていますので、一自治会では回答しにくいんじゃないかと思えますね。

細莖委員 先日の防災の日も、全国的に食料の備蓄量が非常に低いようなことが国から発表されていましたが、多摩区でも、自助ということで、1週間分ぐらいの食料は各自で確保するよというのをもう少し強くアピールしたほうがいいんじゃないかと思います。

藤原委員 私、自然災害部会でございますけれども、いろいろ検討している中で、大きな災害と小さな災害とあると思うんですね。例えば今日のように地域だけで竜巻に巻き込まれたときに小学校に全部行くわけにいかないわけですから、各地区で何かできるようなことはないのかなと。会館とかそういうところで一時的にしのげるような形がないかなと考えたわけです。そういうことも含めて今後検討していきたいと思えます。よろしくお願ひします。

原田委員 自然災害部会の原田でございます。ただいま3大学ということでお聞きしておりますけれども、大学生は地域にアパートやマンションを借りて住んでいられるので、そういう方とふだんからコミュニケーションをとって連絡をとれるようにしておけば、わざわざ学校まで行ってお願ひしなくても、多分地域に住んでいられるので、やっていただけるんじゃないかというのが私の考えなんです。学生さんも、例えば1回出たらなかなか、お友達同士で遊んでいてなんて言って連絡をとるのが難しいんですけども、ふだんから盆踊りとかお祭りに参加してくれよということで出ていただいていると結構話しやすく、向こうも来やすく、いろいろ来てくれると思えます。例えばうちのほうの場合だと、ちょっと飲み会があったら来ないかということでやっておりますけれども、そういうのが一番コミュニケーションがとりやすく、女子大の場合は女性なのでなかなか難しいですけども、明大とか専修とか、男の方でしたら結構やっていただけるんじゃないかと考えております。

配島委員 コミュニティ部会の配島です。先ほどからもちょこちょこ出ていた子ども区民会議のほうも担当させていただいて、その子どもたちもいろんなことを考えていたんですけども、その中で、マップがあつてよかったと。防災マップを見た子どもはそう言うし、そういうのをはつきり見たことがない子は、雨が降ったらどこで土砂崩れがあるのとか、高台に逃げるって高台ってどことか、そんな話もすごく出ていたので、ここにあるような、家の中でも張れるようなものができたら多分子どもたちは喜ぶと思ひ、そういう地図が自分たちの身近にあると、区長さんから講評いただいた中にもありましたが、通学の途中で何かあつたらどうするかということも子どもたち自身が考えるんじゃないかと思ひます。本当に手探りの中でいろんなことを考えて、食べ物の種を常に持つておこうとか、そんなことを考えたりしていたので、そういう意味では、こういう防災マップが子どもたちの目に触れるとすごく喜ぶんじゃないかと思ひますので、ぜひ完成させていただきたいと思ひます。

辻野委員 自然災害部会の皆さんのほうで、いざというときに助け合える体制づくりとい

うシステム、あるいは体制、その仕組みづくり、細部にわたってきっちり検討されているので、すばらしい形ででき上がるなど、大変わくわくした感じで聞かせていただいています。昔のNHKの御近所の底力じゃないですけども、さらに私どもコミュニティ部会との絡みという形では、やはり安全安心なまちづくり、この制度システムにもう一面として、魂のある近所の顔の見える人間関係づくり、ここの部分の心が合わさって万全の安全安心のまちができ上がるんじゃないかなと思ったりしています。そういう形で自然災害部会の皆さんとコミュニティ部会、最終的なところで1つのビジョンが打ち出せたらいいなど、心からそう思いながら聞かせていただきました。

小塚委員 防災訓練のことなんですけれども、川崎市でも31日に総合防災訓練ということで中原の等々力球場でやったんですね。今年度は9都市の総合訓練ということで東京都も全部やっていて、消防からヘリを飛ばしてということで、今回どういう形で助けようということで、実際今まではどこが痛いということを本人たちが言っていたんですけども、今回トリアージというのがメインになってきて、みんなメイクをした状態で、けが人がしゃべれない状態をどういうふうに判断していくかということで訓練をされたそうです。川崎市は終わったんですけども、まだほかの地域もあるので、もしよかったら防災の方たちが行ってきてはいかがかなとちょっと思いました。

あと水道のことなんですけれども、やっぱり市のほうで聞いたときに配水車が5台から8台しかないということで、調査しなくちゃ動けないということなので、3日間は配水車は回ってこないということを水道局の方も言われていたので、そういうことも加味して、今皆さんが動いている形で何かできたらいいなと思っています。

国保委員 最初に自然災害部会のところで掲示板と回覧板をマグネット方式で張るという話、僕はすごくいい話だなと思って聞いていました。コミュニティ部会との関係もありますけれども、私、自分のことで恐縮ですが、開業33年ぐらいなんです。それで、先生も多摩区民の長尾の人だよと言われたときに、この回覧が大変役に立って、回覧がぐるぐる回っているということで、自分が町内会の一員であるという意識を持った覚えがあります。マグネット方式でよろしいかと思えますけれども、こういうようなことを張っていただけるということがコミュニティと災害のほうの両方の連携にもなりますし、この回覧を見る市民が一番多いんじゃないかな、有効ではないかなと思っていますので、この辺をうまくつくっていただけるとありがたいと思っています。

清宮委員 さっき原田委員が言われましたけれども、うちのほうのお祭りがあるんですね。うちは遊園のそばですから、案外寄宿している人が明大、専大にいますので、お祭りで担ぎ手で来ていただいているんです。これからもそういう人を大事にしていきたいと思えます。

安陪委員 自然災害部会の安陪です。あなたの備える基準のマグネット版なんですけれど

も、これはあなたのというのが非常にみそで、あなたという言葉は、あなたの家族、あなたの隣近所、あなたの自治会ではというように置きかえられていくと推測しているんですけども、あなたといいますと当然あなたの家族。家族とのコミュニケーションで一家共通意識で、とっさのときの避難、救助の判断がすぐできると思うんです。また、いろいろな避難経路、危険箇所等も当然書き込むときに家族の話が練りに練られて言葉になって書かれるということで、最小の単位で最高の効果を上げるような言葉だと思って、これはとてもすばらしいなと自画自賛をしているわけでございます。

戸高副委員長 この区民会議の中で、私たち区民みずからが備える対策の1つとしてマグネット方式の「あなたの防災情報」であり、身近な私たちのコミュニティの中でみんなが共通して認識しておきたい庁内会・自治会看板への避難所の掲示、回覧方式とか、それからお互いに助けられるような方策について具体的に検討されていて、大変心強いと思いました。

個人的な私の家庭の状況を考えますと、今ちょうど容器リサイクルでその他のプラスチックの回収が始まりました。今までなれてきたものですから、ペットボトルとか燃えるごみとかの分別はできていたんですけども、燃えるごみの中のその他のプラスチックという認識がとても範囲が広くて、実際に回覧とか広報でいただいているのを見ながら家族でやっています。同じようにここで討議されているマグネット方式のものが家庭の中にあり家族で確認できること、それから町内会・自治会の看板のところで、自宅なりマンションで避難していて、それ以上に大変な時期にどこへ自分たちは避難したらいいだろうというときに、本当に身近の掲示板で避難所が日ごろから見られる、そういう身近なところで具体的な対策が立っていることがとても心強いと思っています。

それから、私たちコミュニティ部会でも検討していることですが、このコミュニティを本当に豊かにしていくことが、まず挨拶とか検討されていますが、お互いの助け合いにもなることだと思っていますので、両方の部会でフォーラムまでに今提案されているいろんな中身を具体的に進めていけたらと思っています。

石橋副委員長 私は、自然災害部会で町会の回覧板がこんなにもいろいろあるのかと初めて知りました。ですから回覧板というのは有効な手段と感じましたけれども、今は無償で提供されているようですから、その提供先をどういうふうにするか。多分そこには防災のことについて全て取り上げられていると思うんです。だから、それを統一するようなお願いの仕方というのは、私たちの思いを実現するには知恵出しが必要なんだなと思いましたし、きのう今日で起きております竜巻による被害でも、避難所は相当後になってから行政が開設するというものですから、そんなことも踏まえながら議論していかなければいけないのかなと思いました。いずれにしても、顔が見えるとい

うコミュニティ部会と自然災害部会はもう間違いなく連動して、コミュニティがなければ、発災した後でも、それをもう1度再構築する上においても必要な課題ではないかなというふうに感じながら聞いておりました。

大津委員長 ありがとうございます。今までの発表なり御意見の中で、2つ提起事項があったかと思います。1つは、コミュニティ部会のラジオ体操に関するアンケートの中の置き方で、石橋副委員長からでしたけれども、参加者は子ども、母親、父親、高齢者。やっぱりラジオ体操はイメージ的に子どもレベルの行事かと思いますので、答えの事例も子どもから始まって母親、父親となっていますので、「高齢者」を「祖父母」と変えるほうが確かに自然かなと思います。私は「高齢者」という言葉のかわりに「祖父母」と置いたほうが素直かなと思いますが、いかがでございましょうか。——では特に辻野部会長、よろしゅうございますか。

辻野委員 はい。

大津委員長 もう1つは本多委員からの御指摘で、一時避難所というのは確かに……。

石橋副委員長 そうじゃなくて、(1)の2の避難所でしょう。

大津委員長 ですから、一時避難所はそう簡単にできるわけじゃないよと。避難所運営協議会というものもある。ここでひとつ事務局からの発言をお願いしたいと思います。今アンケートを2つの部会共通にいろんな準備をしております。これは町会・自治会ですので、事務局からいわゆる町連の幹部の皆さんに打診をしていただきました。その結果と様子を含めて、ちょっと事務局から報告をお願いできますか。

石橋副委員長 その前に、(1)の2の「避難所の運営などを支援してほしい」というのは、避難所運営会議とかそういうことで避難所が開設されたら、そのところのお手伝いをしてほしいと、その程度のことで……。

本多委員 けれども、それを一町会でしてほしいというのを決められないんですよ。運営協議会でいろんな議論をして、担当者がちゃんと決まっていますからね。だから、この文書だけだったら、そういう運営協議会のほうに出されたほうがいいんじゃないかと思うんです。

大津委員長 御指摘のことは理解できます。私が振った意味がありますので、ちょっと事務局から報告していただけますか。

事務局 事務局からの報告なのですが、日程的に、町会・自治会向けのアンケートを実施するに当たっては、町会・自治会の役員会のほうで事前にお話ししてと考えております。町会・自治会の役員会に諮る前に、会長なり副会長に役員会に諮ること自体のお願いをしたいと思っております。その日程につきましては、今度9月17日に日程を改めてとって丁寧に御説明して、その辺の段取りを進めていきたいと考えています。

それとあと、設問の中の文言の話がこの場で出まして、避難所の運営についての話も出ました。確かに趣旨としては、私も事務局として参加して考えていたときには、

町会・自治会に向けたアンケートなんだけれども、災害時に学生さんに手伝ってもらいたいことがありますかという1つの例として避難所の運営と挙げてしまったところもあるので、要するに、災害が発生したときに地域住民の1人して大学生の方に支援してほしい内容としてももう少し適切な例に見直しは図りたいと思います。

あとそれぞれのアンケート自体も、趣旨は今この場で、9月4日のこの本会議でこういうアンケートをやりたいんだという合意を各部会ではそれぞれやっているんですけども、全員そろった席で御確認いただいて、具体的な文言につきましては、今日の意見も踏まえましてもう少し精査してやっていきたいと思います。よろしいでしょうか。

大津委員長 ありがとうございます。そういうことでまた事務局から投げかけをいただきましたので、町連の主要メンバーに1回ヒアリングをお願いする。その町連の幹部の皆さんは、本多委員が心配される各避難所の運営協議会の会長なり、キーパーソンがいらっしゃいますので、そういう方々に事前をお願いすることにもつながりますので、その辺を連携しながらお願いしていきたいと思っておりますので、御承知ください。

大体御意見、御指摘はそろったかと思いますが、よろしゅうございますか。言い忘れたことがございましたら、両部会あわせて結構ですが、いかがでしょうか。

本多委員 提案させていただいていいですか。自然災害部会のほうにちょっと提案なんですけれども、各家庭で水とか食料品は備蓄をやりなさいと。食料品とか、水もそうですけれども、期限がありますよね。ですから私は思うんですけれども、コンビニなんかをもっと活用して、行政さんとコンビニでうまく連携して、食券みたいなものを持っていればコンビニへ交換しに行けるというふうな……。コンビニなんていうのは全国一斉に地震で倒れるわけじゃなくて、例えば関東地区がだめでも関西から応援。前の神戸の地震のときもそうですけれども、セブン-イレブンの社長から、関東から向こうへおにぎりとかそういうのをオートバイで運んだとお聞きしたことがあるんです。関東地区がやられたときには関西から応援していただけるように、備蓄を各家庭でやるのももちろん必要なんですけれども、コンビニなんかとうまく連携できるような方法を考えていただけないかなと。だから各家庭でももちろん最低限度はやっているんですけれども、それ以上になった場合にはコンビニで優先的に住民が交換できるような仕組みがつかれないのかという検討もしていただければありがたいなと思うんです。

清宮委員 私が町会長をやっているところにダイエーがあるんですけれども、そこと折衝しましたら、何しろ協定は結べないと言うんです。ダイエーは川崎にも何軒かありますけれども、それを結んでいるところはないと。うちのほうは1000円券を町会でためているんです。敬老の日に配ってね。だけれども、早く並んでくれと言うんですよ。

ダイエーが町会の中ですから、早く元気のいい人に並んでもらってと。やっぱりお客さんですから、協定を結んでおたくの町会にこれって……。並んでもらわないといけないと言うんです。そんなことを言っていました。もう10年ぐらい前なんですけれどもね。

本多委員 それを行政とうまく話をして、全体的に広げていただけるといいなと思うんですね。

清宮委員 ええ。それはやっていないと言うんですよ。支店長はどんどんかわりますけれどもね。

細埜委員 私、商人という立場からだと、今、全部のコンビニエンスとかは効率で考えていますから、それほどのスペースがないし、流通が順調になるまでといったら相当の日にちがかかると思いますよ。だから、それは多分というか、全然不可能だと私は思います。

清宮委員 何しろ早く並んでくれと。

本多委員 ああ、早い者勝ちだと。

大津委員長 ありがとうございます。今、本多委員の御指摘は行政と何かの協定というふうな御提案でしたので、行政もしくは事務局側にちょっと振ろうかなという気持ちが働きましたけれども、細埜委員から実態的なことを言われますと、今日のところはやめておこうと思います。——ぜひお願いします。

副区長 今のコンビニ等との協定の関係ですが、危機管理の課長補佐が来ておりますので、簡単に説明させていただきます。

危機管理担当課長補佐 コンビニとの協定ですが、発災時において必要に応じて市から協定先のコンビニエンスストアのほうに要請して物資供給するという内容になっています。もちろんそのコンビニができる範囲になりますけれども、そちらについては供給していただくという協定は結んでおります。それらに関する費用等についても、後ほど市のほうが負担して払い込む、そのような協定になっていまして、被災時においては、緊急対応のほうはできるのではないかなと考えております。

本多委員 よろしければどういう協定なのか、内容を簡単に教えていただければ。

危機管理担当課長補佐 内容につきましては、災害発生により物資調達の必要があるときには、協定先に、その物資の調達、製造が可能な範囲において供給を要請することができます。そちらについてそれらの協定先が、対応するというのが内容になります。

原田委員 それは個人でもいいんですか。どこか会社とか団体……。

危機管理担当課長補佐 いえ、川崎市とその会社が協定を結んで、川崎市の要請に基づいて供給することになります。

原田委員 これは個人ではだめなんでしょう。川崎市と行政ですよ。そういうことなんで、どっちにしても個人のところには行かないと思います。

副区長 今お話ししましたように、あくまでも川崎市とコンビニ会社との協定で、市からの要請に基づいてということで、ここの地区が物資が不足しているので協力してくださいと地域を指定するわけですね。ですので、避難所の町会なり自主防、あるいは避難所運営協議会の役員の皆さんが個々のコンビニ店に行っても対応してくれるものではありません。なお、先の東日本大震災のときは、地域の方がコンビニ店に殺到して食料品があつという間になくなって混乱しましたので、早い者勝ちのようなことは避けたほうがいいと思います。

大津委員長 ありがとうございます。今日のところはこの程度で御理解いただきたいと思います。

松本委員 今との関係あるかもしれませんが、先ほども出ていたんですけれども、やはりコンビニとかスーパーさんは在庫を少なくしようとしてやっていますし、3・11のとき、食料品や飲み品があつという間になくなってしまった状況を見ると、やっぱり自助ということが非常に大事で、危機管理のほうも、要するに区のほうもこれだけ備蓄しておきなさいと言っているわけですが、それがどうも余り周知されていないのではないかと思います。ですから、その辺の適切な量の確保ということも、自然災害部会さんの中で、あなたの備蓄は大丈夫ですかみたいなことも含めて書いていただくと、しっかりやっているところも2割とかそのぐらいあるんじゃないかと思うんですけれども、ほとんどのところは冷蔵庫の中にあるものを何とかして逃げ出そうとか、そのぐらいに考えているんじゃないかと思われるので、そういうことをしていただけたらありがたいと思います。

小塚委員 今、備蓄の話だったんですけれども、逆に備蓄したもので期限が切れたものがある量があるので、期限が切れる前にどこかへ行けるルートというのを考えていらっしゃるのでしょうか。水にしても、乾パンとか食べ物もかなりあるので、例えば日本じゃなくて被災されたところとか世界各国に回すとか、そこら辺がうまく回っていくと、備蓄はするけれども出さなくちゃいけないもののルートもまたつくっていかなくちゃいけないので、例えば多摩区の中だったらこれはほかの国に回しましたよとか、そういうのができたら、次の形にできたら、そういうふうに戻っていくんじゃないかなと。これは提案ですけれども、どう思っているかなと思って。

副区長 ただいまの御意見ですけれども、御存じのように、以前は各家庭で最低でも3日ほどの食料、あるいは水の備蓄をと呼びかけておりましたが、3・11以降、1週間分は備蓄しておくことになってきています。ただ、今の賞味期限の話と絡むんですが、昔は乾パンとか5年ぐらい保存できる水を倉庫の端とか押し入れの角っこに置いておいて、いつの間にか賞味期限が切れてもったいないという現象が起きました。そこで、最近のお勧めは、日常食するようなものを少し多目に買って、回転して順に消費していってくださいと。つまりどこかに置いておくのではなくて、1週間

分ぐらいを買って、順に消費していく、したがって賞味期限が来ることのないような備蓄の仕方を考えましょうということが新聞にも出ています。ですから、今後皆さん方に協議をしていただくんですけども、松本委員もおっしゃっていたように、その辺のPR、市民の方の備蓄の考え方、それを行政としても工夫する必要があるのかなとは感じております。

それから、賞味期限の切れたものをどこかに回すというのは、行政の立場からいいますと、その後の問題を考えますと難しいかなと。ですから今お話ししましたように、備蓄の仕方を工夫して、賞味期限が来て無駄にならないような備蓄の仕方考えましょうというところで、少し考え方を変えていく必要があるのかなとは思っております。

大津委員長 ありがとうございます。ちなみに、私が住んでおります宿河原は、宿河原町会、宿河原4丁目町会、5丁目町会、多摩新町自治会の広域避難所は稲田中学校です。年1回、防災訓練に全部集まります。そのときに、備蓄していた乾パンとか賞味期限ぎりぎりのものを参加者に差し上げて、それで参加を勧誘し、また備蓄の無駄にならないような仕組みをやっております。参考までです。

## (2) その他

- ・区民会議フォーラムについて
- ・次回区民会議日程について

大津委員長 その他に2つあります。区民会議フォーラムについて、もう1つ、次回区民会議日程についてがございます。これは事務局から説明してもらえますか。

事務局 事務局のほうから、11月23日のフォーラム開催についての案をお示ししたいと思います。14ページの資料7をごらんください。「第4期多摩区区民会議フォーラムの開催について」ということで、まずこのフォーラムの目的ですが、今回の区民会議の審議内容について区民の皆様へお知らせするということと、地域の課題について考える機会とするために、このフォーラムに参加していただいた区民の方と意見交換をすることによりまして、2つの審議テーマの今後の提言案を区民の方の意見も取り入れてまとめていこうという趣旨でございます。

日時は11月23日土曜日の13時30分から16時までということで、会場につきましては多摩区役所の会議室を予定しております。

4ですが、このフォーラムの流れについて、当初30分ぐらいの間に主催者の挨拶、概要、この日の進行方法の説明をやりまして、今回2つの大きな審議テーマを部会でやっておりますので、その次にそれぞれの部会に分かれていただいて、区民の方と意見交換をする場を持ちたいと考えております。意見交換の方法とか各テーマをどういうやり方でやっていくかについては、今後それぞれの部会で検討いただければと思っ

ています。その時間が大体90分くらいございまして、最後にまたこのフォーラムに参加された方が1つに集まりまして、意見交換の内容の発表をして終わりというような大まかなフォーラムの流れを考えております。

次の15ページにつきましては、それぞれ区民会議の委員の方が役割を分担して行うということと、あと内容、タイムスケジュールの細かいものを書いてあります。

事務局 こういう大まかな流れでフォーラムのほうは考えております。詳細については、日程的なことも後でお話ししますが、今後それぞれの部会でお話し合いをして決めていければと思っております。

大津委員長 ありがとうございます。前回のフォーラムでのベースに基づいて、事務局から仕組みと時間、考え方を御提案いただきました。各委員におかれまして、何か御意見なりございましたら承りたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

それでは、大綱としてはこれでやっていくということによろしゅうございますか。――では、御賛同いただいたものとして扱わせていただきます。

ではもう1つ、次の全体会の日程を含めたスケジュールについて、また事務局から御提案いただけますか。

事務局 また事務局のほうからスケジュールの確認ということで、3ページ、資料3をごらんいただきたいと思っております。今回、ちょっとずれてはいますが、第5回全体会議を9月4日に開催しまして、それ以降の予定が、11月23日、先ほどの区民会議フォーラムの間まで、一応先日8月30日に企画部会が開催されまして、その中でフォーラムに向けてそれぞれの部会の話し合いをこれから詰めていくということが確認されましたので、一応日程的なところでいきますと、各専門部会を9月に1回、10月に1回それぞれ開催させていただいて、それを踏まえて11月7日に企画部会を開催して、もう1度フォーラムの前に全体会議を開催させていただければと考えております。

コミュニティ部会につきましては9月24日と10月29日、それぞれ9月と10月に開催して、自然災害部会につきましては9月19日と10月30日、それぞれ開催させていただいて、全体会議なんですけど、これはフォーラムの前ということで、日程的なところを見ますと2つの案しかお示しできなくて恐縮なんですけれども、11月11日か12日。先の話になりますけれども、そのどちらかで次回の区民会議全体会議を開催させていただければと思っております。今日欠席されている委員の方がいらっしゃいますが、この場である程度決められれば先の予定も立てやすいと思っておりますので。

〔日程調整〕

それでは、11月12日に次回の第6回全体会議を開催させていただきたいと思っております。お時間は今日と同じです。場所につきましてはまた近くなりましたら御連絡したいと考えております。

松本委員 あと各部会の日にちも、この間、企画部会ではこうしたいということで決めた

んですが、それも一応確認しておいたほうがよろしいんじゃないでしょうか。

事務局 10月の日程は30日か29日というのはある程度決めていたんですが、9月については企画部会の中で決めましたので、一応コミュニティ部会は9月24日、自然災害部会につきましては9月29日に、同じ9月なんですけれども開催させていただいて、この場では主にフォーラムでこういった形で御意見をいただくようにしたいとか、テーマとか、具体的にお話しさせていただければと考えております。

大津委員長 ありがとうございます。第6回区民会議は11月12日を前提にして、前倒しに企画部会、両部会の日程がありますので、各委員におかれては極力御出席、参加をお願いしたいと思います。

議題としては以上で終わりますが、その他、各委員から御指摘か御意見がございましたらいかがでしょうか。

配島委員 皆さんにお礼方々、多摩区子ども区民会議を皆さんの御協力でさせていただきまして、打ち合わせも何もなく、今日区民会議があるということで市民館長さんと慌ててまとめていたんですが、今日お休みなので、お礼を言わせてもらってもよろしいでしょうか。事務局さんのほうと何か連絡はとられているのでしょうか。

事務局 特にございませんで、区民会議委員の立場じゃなくて多摩区地域教育会議の立場ということですよ。

配島委員 済みません、どきどきしていますので、書いてあるものを読ませていただく形で。

温かく広い心で多摩区子ども区民会議開催に御支援、御協力くださいまして、本当にありがとうございます。おかげさまで私たちにとって初めての子ども区民会議、子どもたちには知識や何かを教えたりとか、どういうものかというものを伝えていなく、もうぶっつけ本番でさせていただきました。参加した子どもたちは素直な思いや気持ちを出して話し合っ、それを大人の人たちに聞いてもらえたことがとってもうれしかったと言っています。もっといろんなことを話したかったとか、発表したいことがもっとあったとか、大人の人に聞いてもらえてよかったというようなことで、彼らの今後の中で大切な1つというか、糧になる1つになったんだと思います。本当にありがとうございます。

一応4つの部会がありまして、コミュニティ部会が2つと自然災害部会ということで、子どもたちがまとめたことを、簡単ですが、時間がないので読ませていただきたいと思います。

第1グループのコミュニティでは、信頼できる友達をつくるのは難しい、誰とでも挨拶してすぐには仲よくなれない、近所の人や友人とは挨拶をするが相手の気持ちを考えて行動したほうがよい。

第2グループの自然災害のほうでは、安全安心というのは、多摩川に堤防とかダム

がある、避難所マップがある。心配なことは、噴火があったら灰が飛んでくる、豪雨で土砂崩れとか水害があったらどうしよう、地震で電気が使えなくなる、日ごろから準備するものと災害マップが必要だ。

第3グループの自然災害は、災害があったときはどうなってしまうのか、そのときどう思うだろうかということをお話し合っ、そのとき僕たち子どもでもできることを一生懸命考えました。お年寄りやまちの人たちの手助け、元気づけをする、食糧を運ぶ手伝いをする、配給の手伝いができるだろうとか、そのためには自分たちが避難訓練をしたり、非常用のリュックに食べ物の種を入れておくとか、足をけがしないためにスリッパを入れておくということ。

第4グループのコミュニティでは、コミュニティとは人とのかかわり合いで、身近なコミュニティは友人や家族からだ、いじめが多くならないようにしたい、仲間外れをしないようにしたい、話だけで終わらせないで自分たちで実行したり世間に発表していきたい。

簡単ですけれども、4つのグループのまとめがありましたので発表させていただきます。あと区長さんから講評をいただいたりということで、本当にありがとうございました。

大津委員長 ありがとうございました。非常にいい、じんとするような子ども区民会議だったと思います。ありがとうございました。

### 3 閉会挨拶

大津委員長 それでは、大体議事も終わったと思いますので、今日の総括と閉会の挨拶は、戸高副委員長、お願いします。

戸高副委員長 ただいま子ども区民会議の報告もこの場でいただきまして、本当にありがとうございます。参加できました委員の皆様は、今の詳しい子どもたちの意見を伺いながら、改めて当日参加できたこととかいろいろ皆様の中で思い出されたのではないかと思いますけれども、私たち大人も、本日のこの会議の中で、それぞれの部会の中から今まで課題とされていたことの対策が提案されました。また、相互にそれぞれのお立場から今後の対策に向けて、アンケートに向けて意見も出されました。次回のフォーラムに向けて日程も調整されましたので、皆様のお忙しいお時間をいただくとは思いますが、課題解決に向けて各部会で取り組みも含めまして今後のフォーラムにつなげていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。本日はお疲れさまでした。

大津委員長 ありがとうございました。

では最後で恐縮ですが、井口参与に御出席いただいておりますので、講評を賜ればと思います。

井口参与 皆さん、こんばんは。市議会議員の井口真美でございます。なかなか参加できずに、今日は久しぶりに伺わせていただきまして、皆さんの御熱心な議論、本当にありがとうございました。

本当に皆さんの地域に根差した御議論がとても大事だなというふうに改めて思っております。それぞれの部会の御報告で感じたことを1個ずつだけ。先に自然災害部会のほうなんですけれども、発災時にどんなことをすればいいかというのは、本当に地域の皆さんのお力がなければ何ともならないということは、やっぱり東北のことを思っても感じています。私どもは、その前に、発災する前の備えをどうするかということを中心に考えてまいりたいと。人口で単純に割ると、1つの避難所に8000人という人口がいるんですね。なので、皆さんがそこになるべく行かなくても済むような災害対策をするような取り組みを行政と一緒にやっていきたいなというふうに改めて思っていることがまず1点目です。

それからコミュニティのほうなんですけれども、私、1つだけ思い出話をさせていただきたいと思うんですが、細埜さんがいらっしゃる登戸東通り商店街がいつもナイトバザールをやっておられますよね。あのことを1度聞き取りに行ったことがありまして、亡くなった江藤会長がこんなことを言われたんです。いや、ナイトバザールをやっても商店の皆さんのもうけにならないでしょうというふうに伺ったら、それは確かにもうけも欲しいけれども仕方がないんだと。それよりも子どもたちがいっぱい来るんだと。どこにこんなに登戸に子どもがいるかと思うくらい湧いて出てくる。その子たちが毎回来てくれると、最初はだまって立っている。今コンビニでもだまって物を買えますから、だまって立っているけれども、おじちゃん、これ、ちょうだいと言うようになる。そうすると、昼間通っても、おじちゃん、こんにちはと言うようになる。会話ができるようになる練習がナイトバザールだと言われて、今の子どもたちは会話の練習が要るんだというのを、私はすごく、ああ、なるほどなと思って、ナイトバザールが続いておられるというのは会話の練習をしているんだなと思って非常に感動した覚えがあります。

そういう点では皆さんに長く続けていただく、区民会議で区民の皆さんがこういうことを議論していただいて地域に根づいていくことが、本当にこれからの地域をつくっていくんだらうなと思って、改めて今伺っていて、私たち市議会議員は9人しかおりませんので手が回らないことがいっぱいありますが、皆さんと力を合わせる事が本当に地域をつくっていくんだなと改めて感動して、今伺っておりました。

例のフォーラムも成功されて、この第4期の中身がきちんと根づきますように、私どもも頑張っていこうと思います。議員の出席、本当に申しわけないです、代表ではありませんけれども、この思いをお伝えして終わりたいと思います。今日は本当にありがとうございました。

大津委員長 大変ありがたい講評、ありがとうございました。

もう1回伺いますが、言い忘れたことはございませんか。事務局から補足か伝達事項はございますか。

事務局 特にございません。

大津委員長 それでは、お疲れさまでした。これをもちまして本日の全体会議を終わりたいと思います。

午後7時56分閉会